

# 事例1

作業手順書 (E-003 インサート取付作業)				所長	副所長	工事長	主任・係員																																															
工事名	スラブインサート打込	作業期間	作成者名	平成 年 月 日																																																		
作業名	スラブインサート打込	作業期間		所属会社																																																		
■担当ライン				<b>作業手順の説明図</b> 																																																		
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>危険の大きさ</th> <th>危険の頻度</th> <th>危険の程度</th> <th>危険の範囲 (a x b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>C</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							危険の大きさ	危険の頻度	危険の程度	危険の範囲 (a x b)	3	1	B		1	3	B		2	2	B		3	2	A		1	1	C		2	2	B		1	2	C		2	2	B		1	1	C		1	1	C		1	1	C
危険の大きさ	危険の頻度	危険の程度	危険の範囲 (a x b)																																																			
3	1	B																																																				
1	3	B																																																				
2	2	B																																																				
3	2	A																																																				
1	1	C																																																				
2	2	B																																																				
1	2	C																																																				
2	2	B																																																				
1	1	C																																																				
1	1	C																																																				
1	1	C																																																				
<b>作業手順及び作業の急所</b>		<b>どんな危険があるか【危険・有害要因】</b>		<b>危険をなくしたり、少なくするために私たちがこうします【危険有害要因の除去又は低減策】</b>																																																		
<b>【ATKYの実施】</b> ・危険手知(KY)ミーティングの実施 ・作業開始前点検(ATK)の実施		・危険箇所への無断侵入 ・保護具不備によるケガ ・間違った手順による災害 ・無資格者作業、不適正配置による災害		・安全通路、立入禁止区域の周知 ・服装、保護具点検 ・全作業員が理解するまで、手順の確認、説明 ・有資格の確認、配置と役割の確認																																																		
<b>【準備作業】</b> ・材料の運搬 ・安全帯をかける位置の確認		・歩行中につまづき転倒 ・開口部からの転落		・通路上に材料等が置かれていないか確認 ・安全帯の使用、必要に応じて脱網使用																																																		
<b>【本作業】</b> ・位置出し ・下穴あけ(デッキスラブの場合) ・インサート取付		・歩行中につまづき転倒 ・開口部からの転落 ・電動ドリルで手をひねる ・ハンマーで手指を打つ		・足元に注意して歩行 ・安全帯の使用、必要に応じて脱網使用 ・電動ドリルを両手でしっかり握る ・手元に注意して工具を使用 ・必要に応じ打込み棒を併用																																																		
<b>【片付け作業】</b> ・作業場所の清掃 ・不要材の搬出 ・機材の片付		・不要材によるつまづき、転倒 ・つまづき、転倒 ・つまづき、転倒		・清掃状態確認 ・搬出確認をする ・通路上に材料等が置かれていないか確認																																																		
周知会参加者の署名欄 周知会実施日 平成 年 月 日				＊リスクアセスメントの評価基準と評価点 a: 危険の大きさ      b: 危険の頻度      危険の範囲 (a x b) 3: 極めて重大(死亡・障害を伴う災害)      3: かなり起きる(9ヶ月に1度程度発生する)      →A: 9~8(高い危険度), B: 4~3(中程度の危険度), 2: 重大(休業災害=休業4日以上の災害) 2: たまに起きる(1年に1度程度発生する)      G: 2~1(低い危険度) 1: 軽微(不休業災害=休業4日未満の災害) 1: ほとんど起きない(5年に1度程度発生する)																																																		
<small>注: 高所作業不適合者(20歳未満、65歳以上、血圧150以上、作業経験1年未満)については、2m以上の高所作業は禁止する。ただし所表面積により許可の場合はこの限りではない</small>																																																						

## 事例の概要

事前に作業内容と危険箇所をまとめた手順書を作成し、毎日作業着手前に事前打合せを行うこととする。  
危険予知活動の充実を図る